

i-Construction 開始から 10 年を経て、次の生産性向上の鍵は工事全体の最適化へと移行しています。国土交通省や自治体は、簡易な ICT 導入や発注者指定型の拡大により中小企業の参入を促進しています。今後は ICT 施工ステージ 2 として、個別工程ではなく全体最適を図る取り組みが重要です。工程管理中心から、技術やデータを統合的に活用する「技術管理」への転換が求められ、省人化や CO2 削減など副次的効果も期待されています。

【4/20・日経 XT】 [国内 24 社が策定「ものづくり情報標準モデル」、ハノーバーメッセで発信 木崎 健太郎 日経クロステック／日経ものづくり編集委員](#)

国内 24 社が参画する IVI は、ものづくり業務の情報共有を円滑化する「リーン PLM 技術仕様」を策定し、ハノーバーメッセで発信しました。本モデルは企業内外のデータ整備と連携を重視し、機能・情報・データの 3 階層で構成されています。秘匿と共有の情報を整理しつつ、設計から生産、工場運営までの双方向の情報連携を実現します。サプライチェーン全体の可視化や効率化、CO2 排出量把握などにも資する基盤として、国内外での普及が期待されています。

【4/20・日経 XT】 [三井不動産レジが木造 14 階の試作住戸計画、VUILD が曲面シェルスラブ 中東 壮史 日経クロステック／日経アーキテクチャ記者](#)

三井不動産レジデンシャルは、14 階建て木質集合住宅モデルの実現に向け、VUILD と協業し試作住戸を開発します。曲面シェルスラブなど木質ハイブリッド構法を採用し、コンクリートや鉄骨の使用量を削減、建設時の CO2 排出量を約 40%低減する見込みです。木製型枠を天井仕上げに活用することで廃棄物削減や工期短縮も図ります。実証を通じて高層木造の実現性を検証し、脱炭素型都市開発への展開を目指します。

【4/20・日経 XT】 [動き出す「日本版データスペース」、化学物質管理や EV 電池の脱炭素対応 大豆生田 崇志 日経クロステック／日経コンピュータ記者](#)

企業間で安全にデータ共有する「日本版データスペース」が実装段階に入り、化学物質管理や EV 電池の脱炭素対応を目的に活用が進んでいます。約 500 社が参画する CMP では、分散型でデータを共有し、ブロックチェーンで改ざん防止と効率化を実現、工数を約 25%削減します。自動車分野でも CO2 排出量の可視化基盤が整備されており、法規制対応を起点に、資源循環やサプライチェーン強化、AI 活用へと発展が期待されています。

【4/20・日経】 [アジア、石炭回帰の動き 原油調達、中東危機で打撃 温暖化対策に逆行も](#)

【4/20・日経】 [「ポスト・イラン」は中国再エネ チャンスカ脅威か、マネー揺らす 一目均衡 編集委員 山下晃 一目均衡](#)

【4/20・日経】 [東京さらばし、ベトナム・韓国企業と業務提携 サバの陸上養殖を拡大 東京](#)

【4/20・日経】 [インドネシア国営石油、初のバイオ混合ガソリン工場 自給率向上狙う イラン軍事衝突](#)

【4/20・朝日】 [（もっとう with Planet）人道支援、「知ること」が変化の始まり](#)

【4/20・朝日】 [琵琶湖水系固有の肉食魚「ハス」、減ってます 趣味の釣り 13 年、研究者の釣果](#)

[目次へ](#)

□ 4/21（火）

【4/21・日経 XT】 [コンクリートの脱炭素化へ道筋示す カルシウムの物質フロー解明、東大など 夏目 貴之 日経クロステック／日経コンストラクション記者](#)

東京大学大学院と清水建設は、コンクリートの主要成分であるカルシウムの物質フローを国内で初めて定量的に可視化し、脱炭素化の道筋を示しました。分析により CO2 排出の多い工程を特定し、解体コンクリートをセメント原料へ再利用する「水平リサイクル」が有効と指摘、年間約 470 万 t の排出削減効果を見込みます。既設コンクリートの炭酸化促進などの技術と組み合わせ、資源循環と脱炭素の両立が期待されます。

【4/21・日経】 [トヨタ、東北で再エネ活用加速 岩手で太陽光×蓄電池 非常時には避難所に送電](#)

【4/21・日経】 [松江市で蓄電所 今年度運転開始 ちゅうぎんエナジー](#)

【4/21・日経】 [千葉・九十九里沖 CO2 地下貯留 7 月にも試掘調査開始 知事「安全・環境優先で」](#)

【4/21・日経】 [「再エネ国家」中国依存リスク 編集委員 山下晃 一目均衡](#)

- 【4/21・日経】 [AIでトヨタ工場電力需給を予測](#)
- 【4/21・日経】 [化石燃料減で食料難緩和 国環研や立命大など予測 大気汚染改善で農業生産増](#)
- 【4/21・日経】 [三菱商事、ベトナムで石炭火力稼働 完成に20年 脱中東、近隣国から原料](#)
- 【4/21・日経】 [鈴木健太・秋田知事就任1年、スピード・対話姿勢に評価 各界の声 秋田](#)
- 【4/21・日経】 [重要鉱物などに1兆円 政府計画 経済安保で再生利用促進](#)
- 【4/21・日経】 [人工光合成で水素製造 信州大学が寒さに強い新技術 今夏に実証試験へ](#)
- 【4/21・日経】 [製造現場にAI融合 ドイツの産業機器見本市 60カ国、4000社超が参加](#)
- 【4/21・日経】 [複雑な局面、資産に「耐性」を 英マン・グループCEOに聞く 割安な日本株、分散先に有効](#)
- 【4/21・日経】 [量研機構発新興、リチウム回収の実証開始 リサイクルで効率化](#)
- 【4/21・日経】 [アルミ高騰、地下鉄車両の再利用を高度化 富山の日本総合リサイクル フロンティア北陸企業 カーボンゼロ](#)
- 【4/21・日経】 [AIRMANの水素技術試験場 30年めどに水素製品の本格投入 信越発・攻める現場 新潟](#)
- 【4/21・日経】 [沖縄電力の横田新社長「財務強化に注力」 有事の供給態勢も議論 沖縄](#)
- 【4/21・日経】 [重要鉱物・プラ再生に1兆円 政府が行動計画を決定](#)
- 【4/21・日経】 [横浜市がゴミDX、1200施設に管理システム 40万件の事務効率化 News 潜望展望 News 潜望展望](#)
- 【4/21・日経】 [北都銀行、秋田・にかほ市の水力発電事業に12億円融資 地域金融](#)
- 【4/21・日経】 [富士フイルム、北米の全電力を実質再エネ化 CO2排出1割削減 資源エネルギー](#)
- 【4/21・日経】 [韓国SKオン、日本法人開設へ EVやデータセンター向け電池を拡販 アジアBiz](#)
- 【4/21・朝日】 [再エネが石炭を逆転 2025年の世界の電力、構造転換が鮮明に](#)

[目次へ](#)

□ 4/22 (水)

【4/22・日経 XT】 [BYD 対抗、戦略の裏側「EVに絞る」か「HEVを生かす」か 軽電動化、大競争時代へ \(3\) 富岡 恒憲 日経クロステック/日経 Automotive シニアエディター](#)

BYDの軽EV参入を受け、日本勢は「EV特化」か「HEV併用」かで戦略が分かれています。スズキやダイハツは燃費改善効果と価格のバランスから軽HEVを強化し、ホンダや日産はEV中心で差異化を図ります。背景には2030年燃費基準への対応や軽比率の違いがあります。EVではコネクテッド化や電費向上、全固体電池などで競争力を高め、商用EVから普及を進める動きも見られ、軽電動化は多様な戦略が競う段階に入っています。

【4/22・日経 XT】 [VWがHEV強化、2モーター式やV6簡易式を開発 ウィーンシンポ開幕へ 久家 怜 日経クロステック記者](#)

フォルクスワーゲン（VW）はEV一辺倒から転換し、ハイブリッド車（HEV）の開発を強化しています。2モーター式HEVやV6ディーゼルの簡易HEVを投入し、欧州の厳格なCO2規制への対応を図ります。48Vの簡易HEVでは削減目標達成が難しい中、高効率化技術が鍵となります。一方でEV開発も継続し、中国勢との技術競争も激化しています。多様な電動化技術を組み合わせる戦略が今後の主流となりそうです。

【4/22・日経 XT】 [ルノー新型EVの環境性能を高評価、欧州消費者団体 榎谷 さえ子 日経 Automotive 専属ライター](#)

欧州消費者団体の環境性能評価で、ルノーの新型EV「4 E-Tech」と「5 E-Tech」が最高評価を獲得しました。新LCA手法により製造から廃棄まで含めた温室効果ガス排出の低さが実証され、エネルギー効率や双方向充電機能も高評価です。一方、大型EVは電池や重量が効率低下要因となり、HEVと同評価にとどまりました。車両重量やライフサイクル全体での環境負荷が評価を左右する傾向が示されました。

- [【4/22・日経】 \(フロンティア北陸企業\) 日本総合リサイクル\(富山県高岡市\) 地下鉄解体、アルミ再利用 経済安全保障にも寄与](#)
- [【4/22・日経】 \(信越発 攻める現場\) 水素製品 30年本格投入へ エアマンの水素技術試験場\(新潟県燕市\) 共同開発推進 二方式探る](#)
- [【4/22・日経】 LNG 船に洋上で燃料供給、大阪ガスが現場公開](#)
- [【4/22・日経】 コロナ、「リカちゃん」仕様の除湿機 世界観にこだわり コロナ続々、若者に的](#)
- [【4/22・日経】 タイから学生招き脱炭素を紹介](#)
- [【4/22・日経】 帝人、松山事業所で熱電併給 CO2年20万トン削減](#)
- [【4/22・日経】 ゴミ情報、1200施設一元管理 横浜市がDX推進 年40万件の事務効率化 資源循環にデータ活用](#)
- [【4/22・日経】 タイ給油所、EV充電7000基 PTTOR、中東危機受け 1700億円投じ2.3倍に](#)
- [【4/22・日経】 欧州発 技術の倫理\(2\) 気候変動 荒ぶる自然 克服より共生「正義」の概念、公平な負担促す](#)
- [【4/22・日経】 千葉・九十九里沖 CO2 地下貯留 7月にも試掘調査開始 知事「安全・環境優先で」](#)
- [【4/22・日経】 中東緊迫でも投資継続 日本郵船・河野晃副社長 4年で1.4兆円、荷量底堅く](#)
- [【4/22・日経】 野村HDが独船舶投資会社に出資 機関投資家向け商品開発](#)
- [【4/22・日経】 CO2からガス、合成ガソリン…石油代替燃料いつ実用化 中東危機で注目 中東緊迫とビジネス](#)
- [【4/22・日経】 JOGMECの海外炭鉱調査、「日本に過半持ち込み」緩和 分散調達促す イラン軍事衝突](#)
- [【4/22・日経】 CO2からガス、合成ガソリン…石油代替燃料いつ実用化 中東危機で注目 中東緊迫とビジネス](#)
- [【4/22・日経】 「SaaS株は売られすぎ」オラクルCEOが語るAIバブル論 奥平 和行](#)
- [【4/22・日経】 大気や海を循環する水、新モデルで再現 中央大学や東京大学など サイエンス](#)
- [【4/22・日経】 JパワーやJR東、データセンター整備で協業 中部や九州で検討 資源エネルギー](#)
- [【4/22・日経】 ファミマが原油高で配送減、イオンは省エネ前倒し 企業が緊急対策 中東緊迫とビジネス](#)
- [【4/22・日経】 村田製作所、水素燃料で空調向け温水生成 工場で実証 電機](#)
- [【4/22・日経】 AI投資を最優先課題に、成長戦略会議 家事支援に国家資格創設へ 経済](#)
- [【4/22・朝日】 再エネ、石炭上回る 世界の発電量、太陽光前年比3割増](#)
- [【4/22・朝日】 インタビュー イラン危機が覆したエネルギーの常識 安保重視で脱中東・脱石油へ](#)
- [【4/22・朝日】 インタビュー エネルギー危機は脱炭素が遅れた結果 長引けば経済悪化、需要抑制も](#)
- [【4/22・朝日】 EU、燃料高対策で家計支援や再エネ拡大「発電から化石燃料を追放」](#)

[目次へ](#)

□ 4/23 (木)

[【4/23・日経XT】 動向解説 LCCO2 評価制度の準備進む、建設時のCO2削減も照準 小山 航 日経クロステック副編集長](#)

政府は建築物省エネ法改正によりLCCO2評価制度の創設を進め、2028年度の開始を目指しています。従来の運用時CO2削減に加え、資材製造や施工段階の排出(エンボディードカーボン)にも焦点を拡大します。統一的な算定ルールや義務化によりサプライチェーン全体で脱炭素を促進し、既存躯体の再利用など建設時の即効的なCO2削減策が注目されています。

[【4/23・日経XT】 NEXT21をサーキュラー改修 大阪ガスの実験住宅で壁・床を再利用 中東 壮史 日経クロステック/日経アーキテクチャ記者](#)

大阪ガスの実験集合住宅「NEXT21」で、既存住戸の壁や床を下地ごと回収・転用する「サーキュラー改修」を実践しました。部材はデジタル管理し適材適所で再利用し、設備や床暖房も含めて活用しています。廃棄物と新材使用を抑

え、CO2 排出量を約 47%削減しました。既存ストック活用と建設時の脱炭素を両立する手法として、今後の普及が期待されます。

[4/23・日経 XT] [アジア・英国狙うホンダ、EU「新カテゴリー」提案 軽自動車技術に好機 軽電動化、大競争時代へ](#)
[\(4\) 富岡 恒憲 日経クロステック／日経 Automotive シニアエディター](#)

ホンダは軽 EV で培った軽量・低コスト技術を基に、小型 EV「Super-ONE」を日本に加え英国やアジアへ展開する方針です。EU は小型 EV 普及を狙う新カテゴリー「M1E」を提案し、CO2 削減と市場活性化を図ります。軽規格の直接展開は難しいものの、空間効率や低コスト化のノウハウは競争力の源泉となります。各国でアフォードブル EV の需要が高まる中、軽電動化を軸に世界市場での競争が本格化します。

[4/21・日経 XT] [ダイキンなど、エアコン圧縮機からレアアース磁石を回収・再生 4 社が連携 | 日経クロステック \(xTECH\)](#)

ダイキン工業など 4 社は、業務用エアコン圧縮機からレアアース磁石を回収・再生する枠組み構築で協業します。回収から分解、再資源化までを一貫管理し、AI やロボットで工程を効率化、トレーサビリティも確保します。2027 年の本格稼働を目指し、業務用機器分野で遅れていたリサイクルを進展させ、サーキュラーエコノミーと製造業全体の GX に貢献する取り組みです。

[4/23・日経 XT] [Case3 旧百貨店生かしたタワマン建設、構造部材の使用量を 9 割減 小山 航 日経クロステック副編集長](#)

旧百貨店の既存躯体を活用した「プラウドタワー相模大野クロス」は、低層棟で地下 3 階～地上部の躯体を再利用し、構造部材使用量を約 9 割削減しました。建設時の CO2 排出量も新築比で約 50%減を実現しています。高層棟との複合開発により都市機能も向上し、EV 対応駐車場の整備など付加価値も創出しました。既存ストック活用による脱炭素と都市再生を両立するモデルとして注目されます。

[4/23・日経 XT] [躯体再利用革命 10 階建てを 13 階建てに、全面解体を覆した設計者の提案 鈴木 健太郎 日経クロステック／日経アーキテクチャ記者 菅原 由依子 日経クロステック副編集長／AI・データラボ](#)

全面解体予定だった博多駅近くのオフィスビルは、設計者の提案で既存躯体を再利用し、地下～2 階を活用して 13 階建てへ増築しました。免震構造の導入により補強を最小化し、工期・コストを抑えつつ貸室面積を拡大しています。容積率緩和も活用し資産価値を向上させました。資材削減による脱炭素効果に加え、既存ストック活用の新たな事業モデルとして注目されます。

[4/23・日経 XT] [識者の視点 脱スクラップアンドビルドの道、躯体再利用の意義と課題 小山 航 日経クロステック副編集長](#)

既存躯体の再利用は、資材削減による脱炭素に有効であり、都市更新とも両立できる合理的な手法として注目されています。一方で、調査や補修の手間、コスト不確実性、責任関係の複雑さなど課題も多く、担い手は限定的です。躯体寿命の定量化や金融支援、合意形成の仕組み整備が普及の鍵とされます。スクラップアンドビルドから脱却し、既存ストックを評価・活用する社会への転換が求められています。

[4/23・日経 XT] [Case4 日本郵政のビルが重量 1.4 倍に、足回り残して地上部を大型化 小山 航 日経クロステック副編集長](#)

五反田 JP ビルディングは、旧ゆうぽうとの地下躯体を再利用し、地上部を大型化した増築プロジェクトです。高さ約 1.6 倍、重量約 1.4 倍へ拡張しつつ、柱接合や補強手法を工夫して構造課題を克服しました。資材削減に加え低炭素材料も活用し、建設時 CO2 を約 15%削減しています。都市部での工事負荷低減と脱炭素を両立する先進事例として注目されます。

[4/23・日経] [100%再生材カーペット 林テレンプ、車向け 使用済みペットなど活用 環境規制に対応](#)

[4/23・日経] [風力関連産業集積へ号砲 北九州沖で国内最大発電所 始動 市長「フロントランナーに」](#)

- 【4/23・日経】 [JAPEX「脱炭素」一転見直し 原油ガス生産、10年で4倍 地政学リスクで石油・ガス回帰](#)
- 【4/23・日経】 [エネルギー安保「安定へ日韓協力」 韓国高官、中東危機で](#)
- 【4/23・日経】 [海外炭鉱調査の要件緩和 JOGMEC、分散調達促す](#)
- 【4/23・日経】 [今こそ脱石炭、再エネ転換を 国際再生可能エネルギー機関事務局長 フランチェスコ・ラ・カメラ氏 グローバルオピニオン](#)
- 【4/23・日経】 [中国企業、政府計画に呼応 車・出前アプリ大手も「核融合」 アジア VIEW](#)
- 【4/23・日経】 [燃料節約、企業が先行 ファミマ、配送 3→2 回に イオン、省エネ投資前倒し](#)
- 【4/23・日経】 [旭化成と中国電力、蓄電池運用システム共同開発 電池の劣化防ぐ 素材](#)
- 【4/23・日経】 [新電力 Looop、ケニアで太陽光発電 英企業と提携し廃棄パネル再利用 資源エネルギー](#)
- 【4/23・日経】 [ダイヘン、太陽光発電所開発のサンヴィレッジに蓄電池 250カ所へ供給 関西](#)
- 【4/23・日経】 [世界の再エネ発電量、25年新規需要上回る 太陽光は30%増 カーボンゼロ](#)
- 【4/23・日経】 [仏貿易相、レアアースで「信頼国クラブ設立を」 情報共有で対中抑止 南アジア・オセアニア](#)
- 【4/23・朝日】 [\(交論\) ホルムズ海峡の危機 佐橋亮さん、加藤博章さん](#)
- 【4/23・朝日】 [インタビュー 大使に聞く、産油国のコロンビアが脱化石燃料会議を主催する理由](#)
- 【4/23・朝日】 [脱化石燃料目指す初の国際会議、コロンビアで開催へ 日本は不参加](#)
- 【4/23・朝日】 [インタビュー ホルムズ海峡視界不良「日本はどう向き合う？」東大・佐橋教授に聞く](#)
- 【4/23・朝日】 [インタビュー 脱化石燃料会議 成果は「ただのペーパー」でも、無視できない理由](#)
- 【4/23・朝日】 [\(南極観測の現場から：下\) 極寒の海、データは手でつかむ 地道な作業の積み重ね、将来のカギ](#)

[目次へ](#)

□ 4/24 (金)

- 【4/24・日経 XT】 [データスペースを再定義、単なる規制対応からイノベーションを起こす場所へ 大豆生田 崇志 日経クロステック／日経コンピュータ記者](#)

データスペースは従来、規制対応のためのデータ共有基盤として整備が進んできましたが、本格運用は限定的です。EUでは補助金依存から脱却し、民間主導のビジネスモデル確立が課題とされています。一方で、複数企業のデータを安全に連携・活用することで新たな価値創出の場へ進化する動きも進展しています。AI時代には競争力の源泉となるため、日本でもユースケース創出と信頼基盤整備が重要です。

- 【4/24・日経 XT】 [変わる建て替への選択肢、中央日本土地建物が躯体再利用に挑んだ理由 鈴木 健太郎 日経クロステック／日経アーキテクチャ記者](#)

中央日本土地建物は、博多駅前のオフィスビル再開発で、解体・新築から既存躯体の一部再利用へ方針転換しました。竹中工務店の提案により3案を比較し、コスト・工期・CO2削減のバランスに優れる案を採用しました。結果としてコスト約1割減、工期約3カ月短縮、CO2排出量も大幅削減を実現しました。プラン制約は免震構造や大スパン設計で克服し、資材高騰下での経済合理性や早期収益化にも寄与しています。躯体再利用は不動産開発の新たな標準となる可能性があります。

- 【4/24・日経】 [系統用蓄電池事業に参入 北陸電、みずほリース系と 富山・舟橋で](#)
- 【4/24・日経】 [大分県・九電など脱炭素で協定](#)
- 【4/24・日経】 [営農型の太陽光発電、取り締まり厳格に 販売目的の農業促す](#)
- 【4/24・日経】 [電事連会長「脱炭素、一度立ち止まるべきだ」 ホルムズ海峡封鎖 中東緊迫とビジネス](#)
- 【4/24・日経】 [米電力テック最前線（上） AI 需要急増、小型原子炉が脚光 期待先行、商用化に時間](#)
- 【4/24・日経】 [GX 戦略地域の有望 38 地域を選定 データセンターなど地方分散 経済](#)
- 【4/24・朝日】 [農地の太陽光発電、規制強化 設置後農業しない例も 農水省](#)

